

第107回日商2級総評

	出題論点	ネットスクール出題予想
第1問	仕訳問題	的中
第2問	減価償却	不的中
第3問	精算表	不的中
第4問	材料の購入と払出し	不的中
第5問	標準原価計算	第1予想的中

予想合格率 38%

Net-School

第1問(20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金	998,000	売買目的有価証券 有価証券売却益 有価証券利息	990,000 5,000 3,000
2	法人税等	1,280,000	仮払法人税等 未払法人税等	490,000 790,000
3	従業員預り金 福利厚生費	180,000 20,000	現金	200,000
4	社債 社債発行差金償却	3,000,000 12,000	現金 社債発行差金 社債償還益	2,970,000 36,000 6,000
5	支店	492,000	損益	492,000

予想配点：仕訳1組につき4点。合計20点。

(注) 4と5は次の仕訳でもよい。

4	社債	3,000,000	現金	2,970,000
			社債発行差金	24,000
			社債償還益	6,000
5	支店	500,000	損益	500,000
	支損	8,000	支店	8,000

第2問(20点)

問1

平成13年度の減価償却費 ¥ 126,000

平成14年度の減価償却費 ¥ 161,000

問2

備品Bの売却損 ¥ 48,000

問3

備 品

年月日	摘要	借方	年月日	摘要	貸方
14 4 1	前期繰越	900,000	15 3 31	諸口	200,000
	当座預金	100,000		次期繰越	1,050,000
	"	250,000			
		1,250,000			1,250,000
15 4 1	前期繰越	1,050,000			

問4

備品減価償却累計額

年月日	摘要	借方	年月日	摘要	貸方
15 7 31	備品	90,000	15 4 1	前期繰越	215,000
16 3 31	次期繰越	265,000	16 3 31	減価償却費	140,000
		355,000			355,000
			16 4 1	前期繰越	265,000

(注) 15.7.31の記入は、「備品 105,000」でも可。

問5

定率法で行っていたとした場合の備品Aの除却損 ¥ 186,250

予想配点: 問1、問2、問5は各3点。計12点。
問3、問4は各2点。計8点。合計20点。

精 算 表

(単位:円)

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	144,400		2,600	9,000			147,000	
当座預金	146,100		28,500				165,600	
受取手形	27,400						27,400	
売掛金	152,600			30,000			122,600	
売買目的有価証券	138,500		17,500				156,000	
仮払金	21,600			21,600				
繰越商品	72,000		88,000	72,000			75,600	
				6,400				
				6,000				
建物	1,500,000		300,000				1,800,000	
備品	560,000						560,000	
建設仮勘定	300,000			300,000				
社債発行差金	12,000			6,000			6,000	
支払手形		63,400	9,000					54,400
買掛金		55,300						55,300
退職給付引当金		12,200		2,600				14,800
貸倒引当金		2,800		1,700				4,500
建物減価償却累計額		270,000		49,500				319,500
備品減価償却累計額		252,000		84,000				336,000
社債		1,000,000						1,000,000
資本金		1,000,000						1,000,000
任意積立金		250,000						250,000
売上		1,066,500				1,066,500		
受取手数料		16,800	1,500			15,300		
受取配当金		11,000				11,000		
仕入	612,800		72,000	88,000	600,800			
			4,000					
給料諸手当	197,000				197,000			
保険料	24,000			4,000	20,000			
広告宣伝費	67,000				67,000			
支払地代	6,600		6,600		13,200			
社債利息	18,000				18,000			
	4,000,000	4,000,000						
売上割引			1,500		1,500			
旅費交通費			12,400		12,400			
有価証券(評価益)				17,500	17,500			
貸倒引当金繰入			1,700		1,700			
棚卸減耗費			6,400	4,000	2,400			
商品評価損			6,000		6,000			
前払保険料			4,000			4,000		
減価償却費			133,500		133,500			
退職給付費用			2,600		2,600			
社債発行差金償却			6,000		6,000			
前受手数料				1,500			1,500	
当期純(利益)					28,200			28,200
			703,800	703,800	1,110,300	1,110,300	3,064,200	3,064,200

(注)「評価益」は「運用益」でも可。
貸借対照表欄の「繰越商品」の金額および損益計算書欄の「仕入」の金額は、それぞれの使用行数の範囲内であればどの行に記入していても正解とする。

予想配点： 1つにつき2点。合計20点。

第4問(20点)
問1

取 引		仕 訳			
		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	6月6日における仕入取引を記帳した。	材 料	2,600,000	買 掛 金 当 座 預 金 内 部 材 料 副 費	2,400,000 80,000 120,000
2	6月30日に判明した実際残高と帳簿残高との差額1個は正常な範囲内にあるため、これを原価に計上した。	製 造 間 接 費	12,000	材 料	12,000

問2

材 料		(単位：円)	
月初有高	(180,000)	当月消費高	(6,080,000)
当月仕入高	(6,200,000)	棚卸減耗費	(12,000)
		月末有高	(288,000)
	<u>(6,380,000)</u>		<u>(6,380,000)</u>

予想配点:問1は仕訳1組につき2点。計4点。
問2は 1つにつき4点。計16点。合計20点。

第5問(20点)

- (1) 108,010 円/単位
- (2) 582,000 円(借方)
- (3) 765,000 円(貸方)
- (4) 53,000 円(貸方)

(2)～(4)の()内には、借方差異の場合は借方、貸方差異の場合は貸方と記入すること。

仕 掛 品		(単位:円)	
直接材料費 ()	30,000,000	完 成 高 ()	54,005,000
直接労務費 ()	21,210,000	月 末 有 高 ()	7,777,000
製造間接費 ()	10,525,000		
原価差異 ()	47,000		
	<u>61,782,000</u>		<u>61,782,000</u>

予想配点:(1)～(4)は1つにつき3点。計12点。
仕掛品勘定は()1つにつき2点。計8点。合計20点。